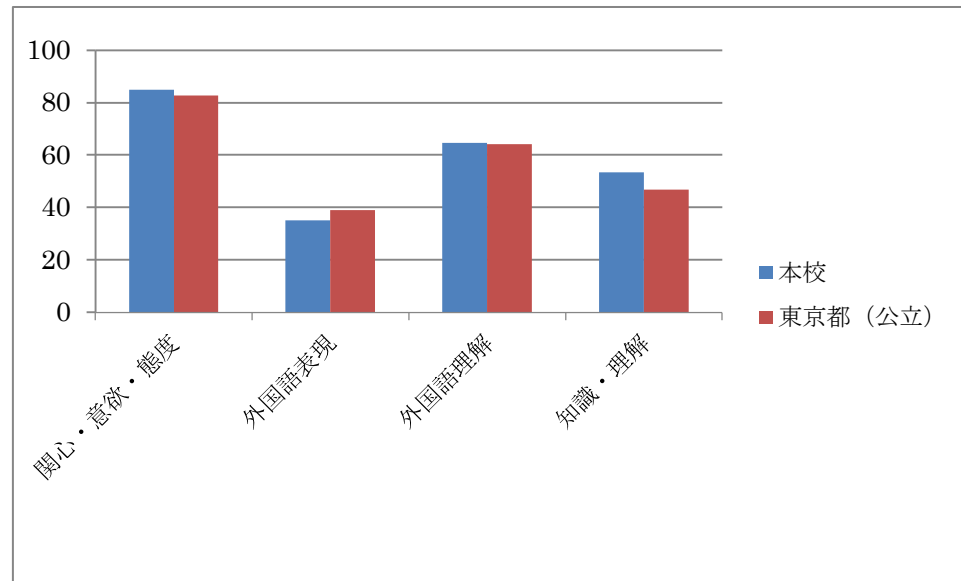


英語（児童・生徒の学力向上を図るための調査）

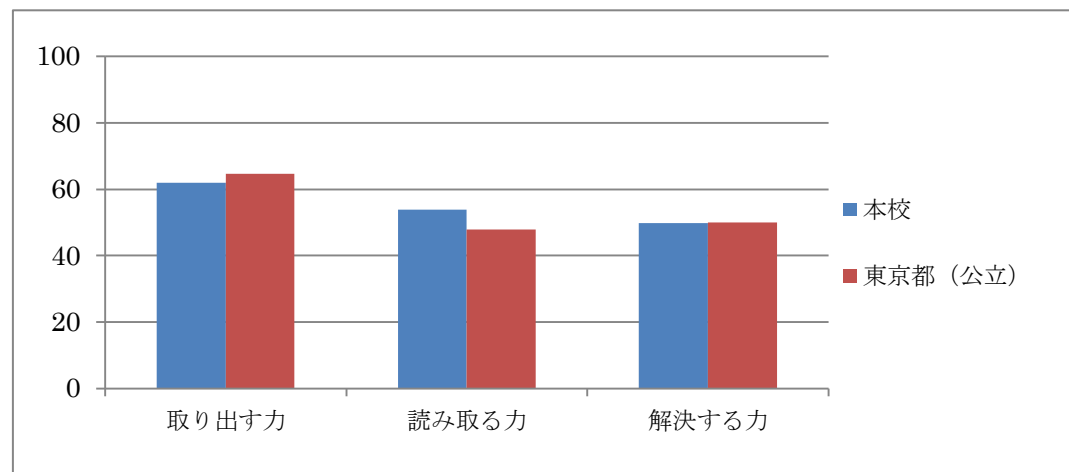
1. 観点別の正答率についての分析

(1) 英語A：教科の内容



- ① 「関心・意欲・態度」「外国語理解」「知識・理解」では平均より高い数値を得られた。
- ② 「外国語表現」では英作文や文作成などの課題が残る。

(2) 英語B：読み解く力に関する内容



- ① 読み取る力では授業中の短文読解の効果が少しあらわれている。
- ② 文章から必要な内容を取り出す力に対策が必要である。

2. 結果からの考察

(1) A：教科の内容

⇒「外国語表現」の部分で平均点より少し低い。

(2) B：読み解く力に関する内容

⇒英文読解での必要な情報を取り出す力が平均と比べてやや低い。

3. 指導改善のポイント

(1) A：教科の内容

⇒英作文や英文書きかえなどの指導を念入りに行っていく。

(2) B：読み解く力に関する内容

⇒英文からの抜き出し問題や指示語などの読解問題を増やしていく。